

# 坂本公成 + 森裕子

Kosei SAKAMOTO + Yuko MORI  
(Monochrome Circus)

京都を拠点に活動を続けるダンスカンパニー Monochrome Circusを率いる二人。「身体をめぐる／身体との対話」をテーマに国内外で活動を展開。代表作にgrafとのコラボレーション『TROPE』や、『HAIGAFURU ~ Ash is falling』などがある。また「掌編ダンス集」と銘打つ大小様々な作品群をレパートリーとしている。その他、コミュニティダンス、サイトスペシフィックな作品など、幅広く手がける。コンタクト・インプロヴィゼーションや身体に関するワークショップを、ダンサーはもちろん、大人から子ども、教育や福祉に関わる幅広い人々を対象に数多く行っている。

所属カンパニー Monochrome Circus  
ホームページ <http://www.monochromecircus.com/>  
連絡先(担当) 森裕子  
住所 〒603-8312 京都市北区紫野中柏野町22番20 紫野スタジオ内  
一般社団法人ダンスアンドエンヴァイロメント



Photo:菱川裕子

## ■活動歴・受賞歴■

### ○活動歴

〈2008～09年〉『坂本公成掌編ダンス集 国内ツアーアトリエ劇研(京都)、@本行寺(岡山)、@別府市中央公民館、@茅野市民館(長野)  
〈2008～10年〉『Monster Project』@アトリエ劇研(京都)、@CNDC(Angers)、@パリ日本文化会館(Paris)  
〈2010年〉『オーケストラで踊ろう!!』@可児市文化創造センター、@大垣市民会館  
〈2011～16年〉『TROPE』@VOICE GALLERY(京都)、@可児市文化創造センター、@P3artandenvironment(東京)  
〈2015～21年〉『HAIGAFURU/Ash is falling』@京都芸術センター、@横浜赤レンガ倉庫  
〈2017年〉『T/IT:不寛容について』@京都芸術センター  
〈2019年〉『FLOOD』@京都芸術センター  
〈2022年〉『京都自肅生活日記Don't worry!!!』、『TSUBUTE』@THEATRE E9 KYOTO

### ○受賞歴

〈1998年〉芸術祭典・京 造型部門“公募・京を創る”入選  
〈2000年〉“京都市若手芸術家奨励制度”奨励者に選出される(助成金300万円)  
〈2001年〉横浜ダンスコレクション Solo \* Duoコンペティション ファイナリスト  
静岡振付コンクールファイナリスト  
〈2002年〉アジアン・カルチュラル・カウンシル(ACC)の助成を受けてNY研修  
〈2008年〉京都市芸術新人賞受賞

## ■ワークショップ歴■

〈2000～22年〉京都国際ダンスワークショップフェスティバルにてコンタクト・インプロヴィゼーション、キッズ&アダルト、ビギナー・クラスなどを指導 主催:Dance &

### Environment+京都芸術センター

〈2006年〉『トヨタ・こどもとアーティストの出会いin愛知 @瀬戸市立掛川小学校』全校生徒(19名)とパフォーマンスを創作 主催:子どもとアーティストの出会い  
〈2007～15年〉Contact Improvisation Meeting in Japan(CIMJ)にてコンタクトのベーシック・クラス、創作クラスを担当 主催:Dance & Environment  
〈2009年〉『混浴温泉世界-ダンサーを探せ!!』地元の人と商店街でダンスを展開。主催:別府プロジェクト  
『オーケストラで踊ろう!!』可児市・大垣市の6歳から80歳までの市民150名がオーケストラの生演奏で踊るという企画の演出・振付 主催:可児・大垣オーケストラで踊ろう事業実行委員会  
〈2023年〉芸術文化観光専門職大学にコンタクト・インプロのWS。  
その他、大学、役者向けのWS、子供向けのWSなど多数経験有り。

## 可能なワークショップ等のスタイル

### アウトリーチ・公募ワークショップ共通

#### ①ふれあうことから

他者と触れ合う中で生まれる動きを通じて、身体のセンセイション、相互の身体をリスペクトすること、いかにコミュニケーションをとっていくかということに焦点をあてていきます。

#### ②子どもとおとなワークショップ

コンタクト・インプロヴィゼーションを生かしながら、子どもとおとの身体の違いを相互にリスペクトしながら、ともに身体を動かしダンスを経験する楽しいワークショップです。

### ○実施条件(共通)

▶参加人数: ①30名以内、②20名以内 ▶1日の実施可能回数・時間:2コマ程度 ※1コマ120分  
▶必要機材:音響設備(CDプレーヤー、スピーカー)  
▶対象:どなたでも

## この事業で可能な公演スタイル

### レパートリー作品

#### ①『きざはし』(デュオ)

150本のナイフ、テーブルの上と下の男女。意図しようか意図しないか人が2名存在するだけで互いに傷つけ合っている。▶上演時間:25分▶出演者数:2人(登録アーティスト)

#### ②『lost』(ソロ)

LED照明を使ったインスタレーション的作品。7m×7mのオープンスペースならばどこでも上演できるようになっている。▶上演時間:25分▶出演者数:1名(登録アーティスト(森))▶同行スタッフ:照明1名 ※照明機材持ち込み。

#### ③『Endless』(デュオ)

3.11以降の価値観の変動とゆらぎを、ダンスを通じて見つめなおす坂本+森デュエット作品。▶上演時間:20分▶出演者数:2名(登録アーティスト)▶音楽:山中透(元dumb Type)

### ④『TSUBUTE』(デュオ)

詩人の和合亮一氏の『詩の礎』を題材にした二人の渾身の最新作品。▶上演時間:25分▶出演者数:2名(登録アーティスト)

### ⑤『京都自肅生活日記 Don't Worry!!!』(デュオ)

2020年春の緊急事態宣言に伴って要請された外出自肅生活の2ヶ月あまりを、身体と日記調の語りで綴ったドキュメンタリーダンス作品。▶上演時間:28分▶出演者数:2名(登録アーティスト)

### 市民参加作品

#### ①『夏の庭』(デュオ)

雷の音、ヒグラシの鳴き声。夏という季節はなぜかはかなく、切なく感じられる。▶上演時間:18分

▶出演者数:2名(登録アーティスト)+10～15名

#### ②『それから六千五百年地球は眠っているだろう』

三好達治のテキストを元に、震災の記憶と核の問題を扱った市民参加型作品。▶上演時間:35分▶出演者:2名(登録アーティスト(森)+共演者)+8名(ワークショップ参加者)

### ○実施条件(共通)

プロジェクト展開地域の実情を考慮し組み合わせて展開したい。▶上演環境:(1)会場の広さ・形状:7m×7m以上希望 (2)床:リノリウムがあった方が望ましいが、なくても対応可 (3)必要機材、舞台セット:通常の照明・音響機材